

〈セミナーのご案内〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

高等教育活性化シリーズ 386 (通算 717 回)

2019 年 3 月 27 日 (水)

大学と社会をつなぐ、つながる ―

大学情報発信メディアの深化と実際

- ～ オウンドメディアの活用／電子出版の明日／ネット配信／メディアミックス ～
- ※ 大学コンテンツの収集・取材・編集・発信／大学広報への展開／オウンドメディアの実例と分析
 - ※ 大学出版部の最新動向／デジタル・コンテンツの展開／書籍・学術情報のデジタル化
 - ※ [大妻女子大] 電子出版事業を含む研究所活動／研究所経営の方法／研究成果の発信／研究支援
 - ※ [東洋大] 多彩なコンテンツのウェブサイト／体験授業／学問の魅力／学生の声／学部学科情報

● 講師陣 ●

- 山下 研一 氏 / (株) シンク・アップ プランナー
学校広報ソーシャルメディア活用勉強会 (GKB48) 事務局長
- 黒田 拓也 氏 / (一社) 大学出版部協会 理事長 (一財) 東京大学出版会 専務理事
- 大澤 清二 氏 / 大妻女子大学 副学長 博物館 館長 人間生活文化研究所 所長
- 加藤 建二 氏 / 東洋大学 理事 入試部長

【協力：大妻女子大学 人間生活文化研究所】

2019 年 3 月 27 日 (水) 大妻女子大学 人間生活文化研究所 セミナールーム (東京)

 地域科学研究会
高等教育情報センター

日時：2019 年 3 月 27 日 (水) 10:00 ～ 16:40

会場：大妻女子大学 人間生活文化研究所 セミナールーム (東京) 千代田区三番町 7-8 大妻女子大学図書館棟 6 階

アクセス：JR 総武線「市ヶ谷駅」出口より徒歩 10 分

※受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

参加費：A. ご一名 (資料代込) 41,000 円 (税込)

B. メディア参加 (資料・音声 CD 送付) 42,000 円 (送料、税込)

C. 高等教育同人 (☆) 21,000 円 (税込)

※ メディア参加とは会場に来られない方の参加形式で、開催後に当日配布資料及び音声 CD を送付します。

※ なお、当日参加とともに、音声 CD をご希望の方には、特別割引いたしますのでお問い合わせ願います。

※ 参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

☆ 高等教育計画経営研究所同人は KJK の HP でご確認願います。

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ、

FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880

三菱 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658

郵便振替 00110-8-81660

口座名 <(株) 地域科学研究会 >

※ ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。

申込先：地域科学研究会・高等教育情報センター

東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106

Tel: 03 (3234) 1231 Fax: 03 (3234) 4993 〒102-0082

E-mail : kkj@chiikikagaku-k.co.jp

HP : <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/>

キリトリ線 (※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 386

大学情報発信メディアの深化と実際

(□に✓印を)

当日参加

メディア参加

支払方法 郵便振替 当日払い

銀行振込

必要書類 請求書 見積書

領収書

勤務先 _____

所在地 〒 _____

(書類宛名 _____)

連絡部課・担当者名 _____

TEL _____

FAX _____

メールアドレス _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講 義 項 目
10:00 〃 11:20	<p>□ 大学コンテンツの収集・取材・編集・発信のトータル展開 ～ 入試広報から大学広報へ/オウンドメディアの活用 ～</p> <p style="text-align: right;">(株) シンク・アップ 山下 研一</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オウンドメディアとは ～ 本来の意味と現在ブームの狭義のオウンドメディア 2. 大学広報の動向 ～ 募集のための広報から全ステークホルダーに向けた大学広報へ 3. 大学オウンドメディアの実例紹介と分析 4. 今後の大学広報とオウンドメディアの活用 <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
11:30 〃 12:50	<p>□ 大学出版部の役割とデジタル・コンテンツの展開 ～ 書籍と学術情報 ～</p> <p style="text-align: right;">(一社) 大学出版部協会 黒田 拓也</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学出版部の役割 <ol style="list-style-type: none"> (1) 母体大学と大学出版部 (2) 多様な事業形態 (3) これから何をめざして行くのか 2. デジタル・コンテンツの展開：課題と可能性 <ol style="list-style-type: none"> (1) デジタル化と学術情報 (2) 著作権法改正の影響 (3) 教育とデジタル・コンテンツ 3. まとめ：知的基盤および社会への貢献のために <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
13:50 〃 15:10	<p>□ [大妻女子大] 電子出版事業を含む研究所活動の展開 ～ 文系女子大学で行う研究所活動の方法と経験 ～</p> <p style="text-align: right;">大妻女子大学 大澤 清二</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人間生活文化研究所の研究活動 <ol style="list-style-type: none"> (1) 人間生活文化研究所の性格と方向性 (2) 国際学術協力事業 (3) 賛助企業の貢献と研究活動 (4) 研究所マネジメントの方法論 (人、情報、環境、コスト、空間、時間) 2. 人間生活文化研究所の学内における研究成果の発信 <ol style="list-style-type: none"> (1) 電子ジャーナルの刊行 (2) 電子出版事業 (3) 研究所ニューズレターの発行と (4) 関係専門誌の編集 3. 人間生活文化研究所の研究支援活動 <ol style="list-style-type: none"> (1) 大学院生に対する研究費助成事業 (2) 研究者に対する研究費助成事業 (3) 研究員・特別研究員の支援事業 (4) 科研費獲得のための支援事業と PDCA の方法 <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
15:20 〃 16:40	<p>□ [東洋大] 紙から Web へ。TOYO Web Style の取り組みと今後の展開 ～ 志願者 11 万人超！ 4 年間で 5 万人増を達成した戦略とは？ ～</p> <p style="text-align: right;">東洋大学 加藤 建二</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 紙から Web への決断 2. 徹底した Web 展開での変化 3. 発想の転換で見えてきたものとは <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>